

フラーレンとCNTの現状

フラーレンはフロンティアカーボンが量産しており、最近では有機薄膜PVのイノベーションに非常に重要な役割を果たしている。

CNTについては、応用先がいろいろ検討されているものの、リチウムイオン電池の負極を除いては、まだ大きな展開が見えていない。しかし、産総研のスーパーグロース法を使ってまもなく日本ゼオンが量産を開始する。また、タッチパネル用の透明電極への応用も進められている。LSI応用に関しては、TIA nanoでCNTとグラフェンを組み合わせたデバイスの研究が行われている。

